

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和3年度事業点検・評価調書

5-Ⅲ-3

5-Ⅲ-3

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	グリーン・ブルー・ツーリズム等の推進
節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	3 グリーン・ブルー・ツーリズム普及促進	関連団体	県観光企画課、新潟市観光振興課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市農林水産課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都市住民の多様なニーズに対応したグリーン・ブルー・ツーリズムの推進により、滞在型観光客の増加とリピーターの確保並びに農村環境の整備と地域活性化を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関と連携を図りながらコンテンツ(プログラム)の明確化を図り、ターゲットを絞った戦略的な広報を行う。</li> </ul> <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農山漁村体験コンテンツによるリピーターの増加</li> </ul>		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農村ホームステイとして、民泊体験を県内小学校を中心に推進した。</li> <li>○ 教育体験旅行ガイドブックにより、近隣県へのセールス活動を行った。</li> <li>○ (株)スノーピークと連携しローカルウェアツーリズムを実施した。</li> </ul>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校を対象とした農村ホームステイを実施する。</li> </ul> <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 佐渡観光交流機構では、島内2校、島外1校 計76名を受け入れた。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢化により、民泊受入先が減少している。 満足度を上げる体験プログラム造成や受入ホストの育成が必要である。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 引き続き、佐渡観光交流機構と連携し、セールス活動を行う。</li> </ul>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。 〔 A ・ B ・ C 〕</p>		

A: 予定を上回る進捗  
B: 概ね予定どおり  
C: 遅れている。